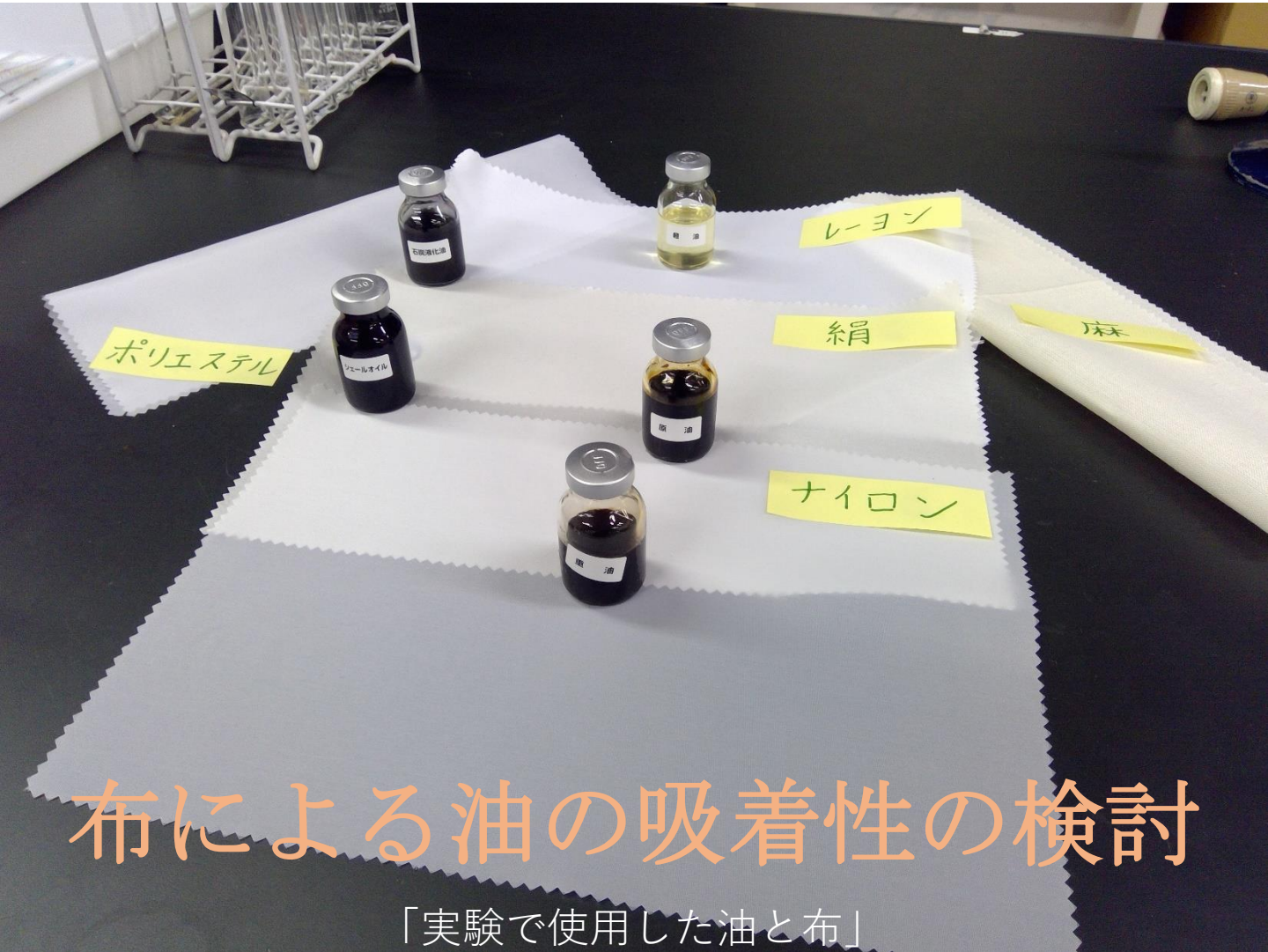




大阪府立千里高等学校 油とり係

大阪府吹田市高野台2-17-1



布による油の吸着性の検討

「実験で使用した油と布」

Action

わたしたちは千里高校のFSG (Future Scientist Group) というグループに入っています。そこで自ら課題を設定し研究を行うことができます。

わたしたちは油（ガソリン）が津波により海に流されてしまったというニュースを知り、「布による油の吸着性」の研究を行いました。調べていくうちに流れでた油は海洋に長い期間漂い、環境に悪影響を及ぼすこと、油吸着材というもので海洋の油を吸着させていることを知りました。そこで、安価で手に入りやすい布を油の吸着剤としてつかうことはできないか検討しました。

各種の油を入れたビーカーにさまざま布をいれ、3日間おき、その布の質量を測ることによって布による油の吸着量を測定しました。結果はフェルト化されたレーヨンがどの油についても高い吸着性があり、調べた布のなかで油吸着剤として最も適当であるといえます。今後の展望は、実際の海を想定し、海水と油の混合液での油の吸着性の実験を行うことです。